

セメント系人造石 標準施工方法

推奨適用範囲:1階部壁面(高さ3m以内) 範囲を超える場合はお問い合わせ下さい。

適用下地 :コンクリート、ブロック、レンガ、木造ラスモルタル下地

1:下地処理

下地にゴミ、ホコリ等の付着が無いことを確認して下さい。その後、接着用プライマー(日本化成:NSハイフレックス3倍液)を下地に塗布して下さい。

2:割り付け(ストーンのレイアウト)

全体の色やサイズのバランスを見るために、ストーンの数箱を混ぜ合わせながら並べて下さい。この時、大きさ、形状、色調等が似かよったストーンが隣り合わないようして下さい。ストーンを自然に納めるため、割ったり、削ったりしてサイズを調整して下さい。割る場合は、裏面にサンダーで切れ目を入れ、裏面からたたいて割って下さい。

3:ストーンの接着面の整備

ストーンへの樹脂モルタルの付きを良くするため、十分に水湿し、または水湿しの代わりに接着用プライマー(日本化成:NSハイフレックス3倍液)をストーンの裏面に塗布して下さい。

4:接着モルタルの下地への塗布

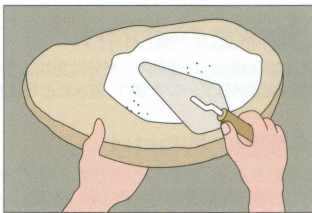
ご注意事項

施工は、必ず“改良圧着張り”で行って下さい。

接着材料は、セメント系樹脂モルタル(株)タイルメント(テラタイト)を使用して下さい。

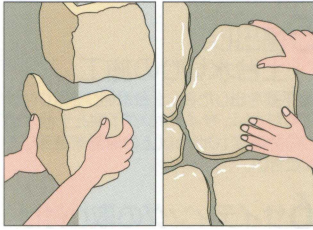
樹脂モルタルは、下地に1~2mm厚のしごき塗りをし、その後2~3mm厚の上塗りをして下さい。また、ストーンを貼る前に、樹脂モルタルが乾きすぎないように、1㎡以上は塗り広げないで下さい。

5:接着モルタルのストーンへの塗布



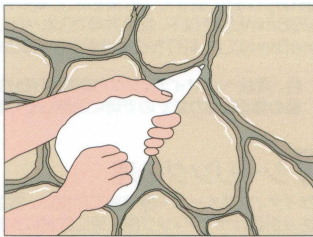
ストーンの裏側に、中央部が厚くなるよう山形状に、樹脂モルタルを塗布して下さい。

6: ストーンの貼り付け



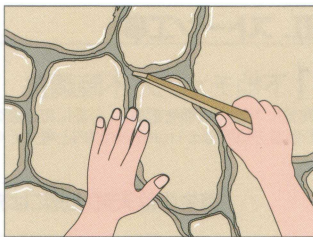
ストーンを貼り付けるときは、ストーン周囲より樹脂モルタルがはみ出てくるまで十分に押さえて下さい。コーナー部分がある場合は、コーナーから施工して下さい。貼り付け作業には、ピブラート等の衝撃工具をご使用下さい。

7: 目地詰め



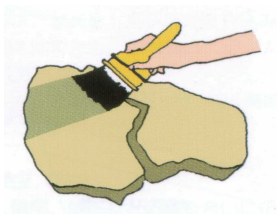
モルタルバック等を使用し、目地部分に隙間ができないよう、目地材を詰めて下さい。

8: 目地仕上げ



目地材の硬化を確認後、竹ベラ等で、余分な目地材をかき落としながら押し込んで下さい。また、作業中にストーンの表面に付着した目地材は、乾燥後、ブラシ等で除去して下さい。

9: コーティング処理



外部への施工の際は、防水効果と表面保護効果のある専用浸透性吸水防止剤（ストーンシーラースタンダード）を、ストーンと目地の表面が完全に乾いた状態で塗布して下さい。

10: その他のご注意事項

降雨等で、上記手順に支障がある場合の施工は避けて下さい。

気温3度以下の場合、施工作業を避けて下さい。

酸洗いは、変色の原因となりますので、避けて下さい。